



『広報・みずかわ』は、水沢出張所管内（花巻市～奥州市）の北上川に関わる様々な取り組みや活動をお伝えします。

「出水対応に関する勉強会」を開催しました

7月14日（金）水沢出張所にて、「出水対応に関する勉強会」が開催されました。この勉強会は、九州豪雨や昨年の台風10号など全国各地で大規模な水害が頻発している中で、北上川流域では今年でカスリン台風から70年、平成19年洪水から10年目の節目を迎えており、洪水対応に万全を期すために大規模出水時における役割分担や対応内容について情報共有を図り再確認するとともに、出水対応の課題と対応について整理を行い、いざという時の洪水対応に役立てるものです。

出張所職員をはじめ、防災エキスパート、河川維持業者、状況把握業者、災害時協力業者の21名が参加し、情報共有・意見交換等を行いました。



水生生物調査が始まりました

今年度最初の水生生物調査が、北上市立照岡小学校4年生の生徒13名のみなさんを皮切りにスタートしました。7月14日(金)に行われた調査では、実際に川の中に入って、なかなかみる機会が少ない川に住む生き物を捕まえて、どんな生き物がいるかを調査しました。



この水生生物調査は、川に住む生き物を採取し、その種類を調べることで水質(水のごよれの程度)を判定する調査です。その水生生物調査から、河川の水質改善の必要性や河川愛護の重要性及び環境保全について広く学んでいただくことを目的に毎年実施しているものです。

本年度も調査を実施するにあたり、参加団体を募集していますので、水生生物調査に興味のある方は、岩手河川国道事務所のホームページをご覧ください◎

